

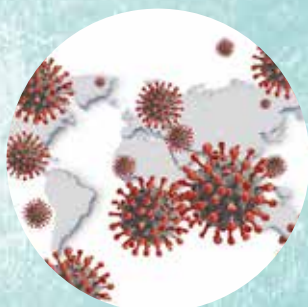


東北大学

東北大学東北アジア研究センター公開講演会

国のコロナ対策と 災害対策を振り返る

～厚生労働省の視点から～



新型コロナウイルス感染症は、私達の生活を一変させるとともに、病気との向き合い方、医療の在り方、社会の在り方など、多くの難しい論点をつきつけた。

さらに東北地方としては、東日本大震災の厳しい経験を経て多くの教訓も残されている。高齢化に伴う社会の変化と自然災害の増加は確実に起きる未来であり、国として大きな課題であることは間違いない。何を学び、どう備えるべきか、行政経験から一つの見方を提示できれば幸いである。

講師

武田俊彦氏

内閣官房 健康・医療戦略室 政策参与
ポストン コンサルティング グループ シニア・アドバイザー

Profile

1983年東京大学法学部卒、同年に厚生省入省。医療保険行政、医療政策を局長・審議官として担当するほか、総務省消防庁審議官として災害対策にも従事した経験を持つ。2018年に医政局長を最後に退官したが、その後も2018年厚生労働省の政策参与、2023年内閣官房の政策参与として公的な政策への助言を続けている。

日時

2024.

1月20日(土)

14:00～16:00 (13:30 開場)

会場

東北大学百周年記念会館
川内萩ホール2F会議室

(宮城県仙台市青葉区川内40)

入場無料
申込不要



CNEAS
Center for Northeast Asian Studies

問合せ

東北大学東北アジア研究センター 岡 洋樹



hiroki.oka.b7 (at) tohoku.ac.jp

※(at)を@に替えて送信してください

アクセス

◎地下鉄：ルート① 仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」下車。西1出口より徒歩約5分。(扇坂階段経由) / ルート② 「川内駅」下車。南1・2出口より徒歩約7分。(川内北キャンパス内経由) ◎タクシー：仙台駅より約10分。

【お願い】 駐車場・駐輪場の用意はございません。公共交通機関をご利用ください。